

防災訓練等指導業務報告書

リガー	ファシリテータ	ファシリテータ	ファシリテータ	ファシリテータ	事務局長	事務局

研修団体名	新居浜市立船木小学校	住所	新居浜市船木4299	電話	41-6260
研修日時	令和5年03月03日 金曜日	研修対象者	船木小学校 4年生	研修人数	61人 9テーブル
研修場所	船木小学校 体育館	研修目的	避難所運営ゲーム (HUG) 疑似体験		
講師	馬越 健	ファシリテータ	近藤雅義、川端悟、菅秀臣	オブザーバー	衣川裕二、菅春樹、後藤

事前打合せ

日時	令和5年2月27日 火曜日 15時30分~16時30分	場所	船木小学校
参加者 研修者	船木小学校 担当教員	参加者 ネットワーク	馬越リガー、岡部事務局員

- 研修日時 3月03日 金曜日 9時00分~11時30分
- 場所 船木小学校
- 参加者予定 船木小学校 4年生 65名前後
- 講習内容 小中 地震バージョン 120分
- 準備品について 教材 (カード)、PC 雑材 不足品等については学校にて準備 設備 (マイク、スクリーン) については 学校機材を貸与

ネットワーク

講師：馬越

ファシリテーター：近藤、川端、菅

- 当日は、8時30分時に集合して、会場準備を行う。船木連合自治会の手伝い有り
- テーブルへの振り分けは、学校にて行う。



防災訓練等指導内容

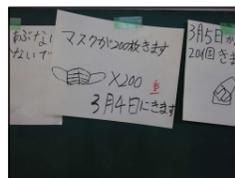
- 指導開始挨拶、グループ分け → 事前に学校にて9グループ分けが完了している。
- 四国災害88景による別子大水害 (M32年)、新居浜台風水害 (H16年) 等の説明を行い災害の状況等を説明。
- HUG研修
 - リーダー、読み手、書き手を決める。 川端氏より読み手の説明。
 - 体育館内の通路、受付場所を決める。
 - カード読み上げ開始

- 研修内容
 - 掲示物に多くのイラストが見られる。トイレの使用状況について
 - グランドの使用がほとんど出来ていない。
 - 30分程度のゲーム説明では小学生低学年には難し所がある。カードの内容を十分に出来ていない。
 - 教師の声
 - 活発に動く児童の姿が見えた。
 - 学級では見えない姿が見ることが出来た。

- 講師寸評

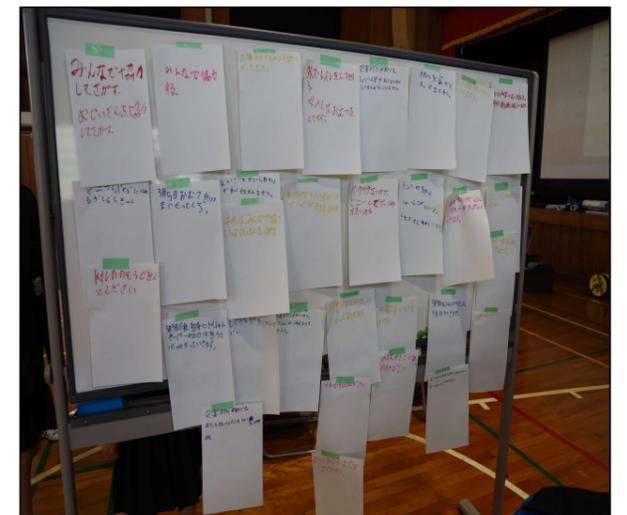
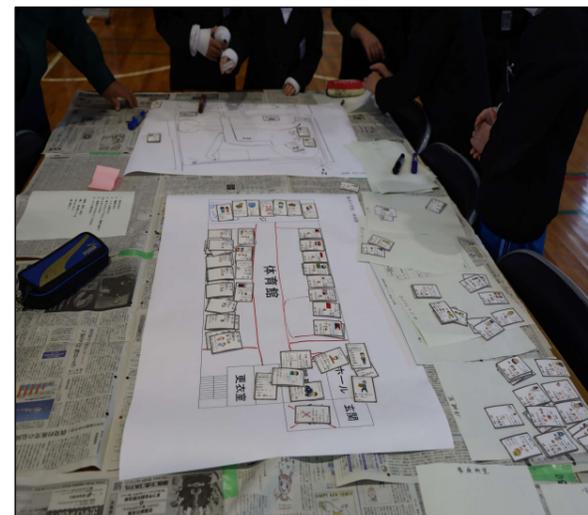
四年生という初めてのケースでしたので、少し理解度に心配はありましたが、生徒たちはまじめに考え行動をしていました。小学生らしい発想もあり、われわれも勉強になりました。

トイレ問題でも、「男は外、女はオシメする」など大人にはない発想であり、もし避難所で全員オシメをすれば、恥ずかしいことではなくなるのでこれも一つの考え方だと思いました。



発行番号No.

令和5年03月03日



- HUG研修の感想
- 避難所カードゲームをして思ったことは、災害が起きた時に避難所に来る人が多すぎて部屋を決める事ができない事がありました。他にもテレビを置く場所とかトイレの場所を決めるのが難しかった。でも、このような体験ができてよかったです。
- 外国人をどこに置かか考える事が難しかった。イベントカードを決める事が難しかった。トイレは男のひとは邪魔にならない所だといけれど女の人はどこに置いてでもいいわけではないので難しかった。でも、この防災教室をして本当に災害が来たときに避難所で働けると思います。
- 私がこの体験をして思ったことはいろいろ怪我をしている人もいれば、命がほしいという人をどの部屋に連れていけばを考えるのが難しかった。本当にやっている人は大変だなと分かりました。今日はゲームだから実際にできるか分からないけど出来ることは頑張ろうと思います。
- 私はこのゲームをして避難してきた人を案内したり助けたりすることはとても大変なんだと思いました。HUGはとても大変で難しかったけど良いことを知りました。それは、人のことを考えて行動するという事です。人のことを考えて行動することが分かっていない人も少し安心できるかなと思いました。
- 今日のゲームをとおして防災についてもっと知りたいなと思いました。今日ミスしたことを、実際に生かしたいです。今日のHUGが勉強になったと思います。
- 私が1番心にのこったことはゲームをしたことです。避難所で誰がどこにいかを考えたときそれぞれ違って大変だなと思いました。私も災害の時には、この授業で習ったことを思い出して活用したいと思いました。